

登録コード	TSS10604		開講年度	2026			
授業科目	機械物理特別実験Ⅱ					担当教員	飯尾 昭一郎
英文授業名	Advanced Laboratory Work in Thermal Fluid Systems, 2					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	機械システム工学分野2年生
講義室			授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力を身につける
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力を身につける
(2)授業の概要	機械物理の応用に関する実験と数値実験、実地実験を実施する。実施形態は集中講義形式にて実施し、前期集中60時間、後期集中60時間、の合計120時間の実験を実施する。						
(3)授業計画	第 1回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：ガイダンス、実験応用実習・解説 第 2回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理応用展開実験準備・予備実験 第 3回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理応用展開実験本実験 第 4回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理応用展開数値実験準備・予備実験 第 5回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理応用展開数値実験本実験 第 6回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：応用展開数値実験総括・グループ討論 第 7回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：ガイダンス、実地実験応用実習・解説 第 8回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理応用展開実地実験準備・予備実験 第 9回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理応用展開実地実験本実験 第10回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理応用展開実地実験準備・予備実験 第11回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理応用展開実地実験本実験 第12回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：応用展開実地実験総括・グループ討論 最終プレゼンテーション・討論						
(4)成績評価の方法	レポート50点、プレゼンテーション・討論50点、の合計点で評価する。90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可とする。						
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	事前に周知する。						
(7)履修上の注意	流体工学および流体機械を学習していることが望ましい。						
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】							